地域づくりの推進役
平成6年度 嘱託員会議を開催

村では各地区の区長を行政と地域を結ぶ地域づくりの推進役として嘱託員に委嘱しています。四月二十五日に平成六年度の嘱託員会議が役場で開催されました。

会議では平成6年度の村の事業の概要や重点施策の説明、各課の業務依頼など村行政を円滑に進めるための協力要請がされました。

嘱託員の皆さんからは、道路や交通安全施設、生活環境の整備についての意見、要望が出されました。

なお、嘱託員の皆さんは次のとおりです。

◎印は代表区長

横越　上　由野　恒雄
横越中第一　石塚　昭一
横越中第二　市村鉄三郎
横越中第三　◎佐藤　豊次
横越　下　高橋　守利
川根谷内　井上　作次
沢海　上　角田　積悦
沢海　中　渋谷　進
沢海　下　◎松本　富蔵
焼　山　目黒　初夫
木津　上　栗山　利助
木津　中　坪谷　雅博
木津　下　◎酒井　昇
二本木上　遠藤　廣次
二本木中　◎仲村　幹雄
二本木下　佐藤　文祐
小杉　上　鈴木　昇一
小杉　中　◎大竹　久次
小杉　下　渡辺　芳司
藤　山　田村富美夫
駒　込　石倉　忠

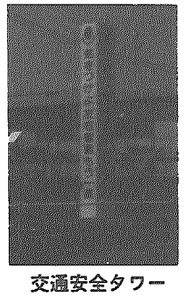
新年度の重点施策を説明

ライオンズクラブが交通安全タワーを設置

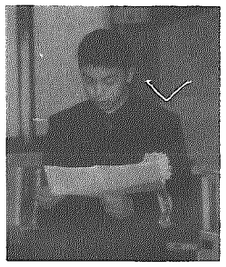
このたび、社会奉仕団体の横越ライオンズクラブ（佐藤忠昭会長）が老人福祉センター脇に交通安全タワーを設置し、五月二十四日に除幕式が行われました。

これは交通事故率の高い横越村の事故を無くそうと交通安全の呼びかけを行ったものです。看板の大きさは、高さ6メートル、巾1メートルの四面看板で三面に交通安全標語が書かれています。この標語は横越小学校の生徒から募集した540句の中から選ばれました。

○気をつけよ　左右確認
　もう一度　木津　佐藤友香
○みんなで守る　今日も安全
　笑顔の一日　藤山　田村泰司
○シートベルト　家族のための
　命づな　沢海　高野佳代


交通安全タワー

横山生徒会長が一日郵便局長に
～遥信記念日行事～


訓示する横山会長

郵政省では毎年四月二十日の遥信記念日を中心にして一週間、いろいろな記念行事を実施しています。

今年も横越郵便局では四月二十日、横越中学校生徒会長の横山隆一君を一日郵便局長に委嘱しました。

横山君は午前八時二十分に出勤。職員一同を前にして訓示。「郵便局は僕達も暑中見舞や年賀状、雑誌の懸賞など多く利用しておりとても重要な機関だと思います。次に利用するのは郵便貯金や郵便振替です。

今年葉書が一枚四十一円から五十円に値上げされました。一般の人達はこの値上げに不満をもっているようですが、もし民間の会社で一枚の葉書を配るとすると、数百円はかかると思います。

いろいろ考えてみると郵便局はなくてはならない機関であり、民間の会社ではできない仕事だと思います。

今日一日、一生懸命がんばって下さい」

このあと窓口業務や機器類、郵便配達の準備作業などを視察し、岡本局長から郵政三事業（郵便、貯金、保険）の現況と横越局の業務内容について説明を受けて行事を終了しました。

勲六等単光旭日章受章
故　内山平一（木津）

さる四月十三日、ご逝去された内山平一さん（木津・84歳）に、このたび地方自治功労者として勲六等単光旭日章が授与されました。

内山さんは、昭和二十六年から昭和三十八年までの三期十二年間村議会議員として活躍され、村政や地方自治発展のため尽力されるとともに、この間、議長として四年間議会運営にも貢献されました。また監査委員を七年間、教育委員を四年間務められました。

姉妹村　茨木県美浦村
役場職員が来村

四月二十八日、二十九日の二日間、姉妹村である美浦村から鈴木助役をはじめ15名の役場職員（係長）の皆さんが来村し、両村の事務事業の意見交換を行うなど交流を深めました。

二日目にはチューリップのイベントに参加するなど横越村の春を満喫しました。

チューリップイベント会場見学

夢さがし　よこごし
チューリップ・Tulip'94

色とりどりのチューリップが咲く四月二十九日〝夢さがし　よこごし　チューリップ・Tulip'94〟が開かれ、村内外から約四千五百人の家族連れが訪れ、満開のチューリップを楽しみました。

一面のチューリップに囲まれた会場で記念写真を撮ったり、チューリップの花摘み、摘みとった花びらで王冠や首かざりなどを作り子供から大人まで童心にかえって楽しんでいました。無料サービスの切花、写真撮影、朝どり竹の子汁には長い列ができる程でした。

また、会場にはチューリップ染教室、チューリップ市場、リサイクルバザーなどが出店し賑わいました。

大区画圃場でもみの直播き

小杉の大区画圃場でもみの直播きが行われました。米の輸入自由化、後継者不足問題の解決策として効率的な稲づくりが求められています。

大区画圃場では苗を植える従来の方式に加え、もみの直播きによる方法を研究しています。直播きも播いたもみに土をかぶせる乾田方式と、もみを播いて水を張る湛水方式があります。

今回は乾田方式のもみ播きが行われましたが、この方式は新潟県内では例がなく、福井県での研修で技術を得てきたものです。特に耕うんやもみ播き機械を今年新しく導入し、栽培面積も昨年の約二倍の三ヘクタールで実施しました。

関係者一同、昨年を上回る収穫に期待をかけています。

「竹のこ」フェア　フジコマ

藤山、駒込地域の住民の生活とかかわりの深い竹林とその恵みである竹のこを生かした地域イベント「竹のこ」フェアフジコマが五月八日開催されました。

当日は心配された雨も上がり、親子で竹のこ掘り体験や竹トンボづくりに挑戦しました。

また、朝採り竹のこの即売や竹のこ汁のサービス、竹工芸展などに人気が集まりました。

意外にむずかしい竹の子掘り

チューリッププランター有難とうございました

横越村球根組合では村の代表的な花であるチューリップの普及、宣伝を図るためプランターによる花づくりを実施しました。

41名の会員が一人10個づつ丹精込めて育てたチューリップが、役場、農協をはじめ各所に提供され、役場には100個のプランターが飾られました。

きれいな花を有難うございました。

94村勢要覧　ひかり輝く里刊行

「町制施行間近―新たな歴史の創造へカウントダウン」というテーマで平成5年4月から取り組んできました「村勢要覧」がこのほど刊行され、全世帯に配布されます。

今回の要覧は、第一章「人の心にひかり輝く里」第二章「21世紀へひかり輝く里」の構成でA4判カラー印刷、企画部分33ページ、村民の生活指標の資料編8ページとなっています。

いつだって　あなたの税金　ここにあり（小杉・遠藤　真由美）